

令和元年7月17日

生徒・保護者の皆様

厚木高等学校長

### 令和元年度 第1回生徒による授業評価結果について

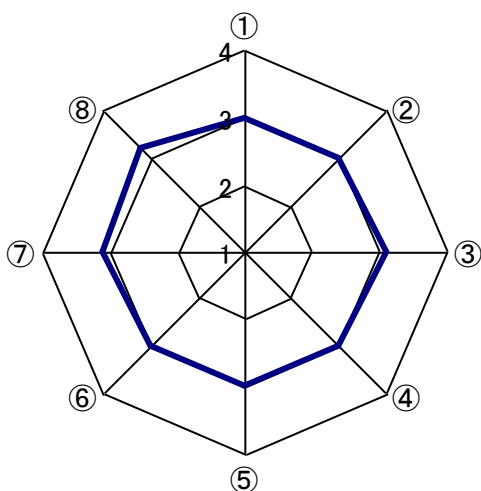
盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度6月実施の「生徒による授業評価」について報告いたします。なお、県全体の傾向についての分析をより明確に行うため、今回から質問項目が全校共通に変更されました。全教科全学年の合計では、全ての質問項目について肯定的な回答を示した生徒が70%以上となっており、レーダーチャートの形もバランスの良いものとなりました。項目別では、特に⑧「意欲」の平均値が高く、授業に対する生徒の取り組みが良かったと思われます。しかし、これらの数値については全教科の平均値ですので、教科によるバラつきもあり、少数ではありますが、授業に対して意欲的に取り組むことができなかった生徒もおります。後期に向けての課題と受け止め、授業改善に取り組んでいきたいと考えております。

今後も、質の高い授業を目指し、教職員一同、更なる研鑽を重ねて参りますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 1. 結果

(※ 選択番号 → 1：ほとんど当てはまらない 2：あまり当てはまらない 3：ほぼ当てはまる 4：かなり当てはまる)								
質問項目	授業の在り方について			学習の状況について				取り組み
	① ねらい、振り返りの機会	② 話し合いの機会	③ 課題解決の機会	④ できるように なった実感	⑤ 視野が 広がった	⑥ 課題解決が できた	⑦ 既習事項と 関連した理解	⑧ 意欲
選択番号	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1	6.2	5.9	4.6	5.1	6.1	4.5	4.1	3.6
2	19.8	19.9	16.8	18.6	19.4	18.0	16.1	12.7
3	42.6	39.8	43.3	43.5	43.2	47.3	45.6	42.2
4	31.4	34.4	35.3	32.7	31.3	30.3	34.1	41.5
平均	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0	3.1	3.2



- ①毎時間の授業や単元（内容のまとめ）のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある
- ②単元（内容のまとめ）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある
- ③単元（内容のまとめ）の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある
- ④授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた
- ⑤他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた
- ⑥授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた
- ⑦授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた
- ⑧授業に対して意欲的に取り組むことができた

## 2. 各教科の分析結果

○今回は評価項目②、③について重点的に振り返りを行い、以下のように分析されました。

### 【国語】

- ・ペアワークや学び合い活動、その都度の振り返りなどの実践が、項目③「課題解決の機会」の評価につながっていると考える。

### 【地理歴史公民】

- ・単元ごとに生徒主体の活動を入れるなど、単元を意識した授業構成により、概ね高い評価だった。

### 【数学】

- ・項目③は問題演習の機会を多くとっていることから、高い結果が出たと思われる。

### 【理科】

- ・全項目が平均とほとんど差がない。今回の結果を基準に、今後の評価を分析していきたい。課題研究での評価は高い。

### 【英語】

- ・項目②について、全項目中、これが一番高い。教科の性質上、授業中に他者と意見交換をしたり、発表したりする機会が多く、そのなかで他の生徒の発言を自分の考えに照らして考える活動が多く持たれている結果である。
- ・項目③について、課題について自分の考えをまとめたり、解決策を考えたりする場面を各単元で設定している。とりわけ、パフォーマンステストや意見を書く英作文において、ある程度負荷をかけて問題を分析して自分なりの考えや解決策を述べる訓練を行っているところである。

### 【保健体育】

- ・「体育」では、それぞれの選択種目においてグループ活動や班活動を中心とした授業展開を行っている。互いにアドバイスをし合い、技術面の向上を図っている。また、チームのゲーム戦略を練る上で、グループ内での話し合いなども活発に行われている。
- ・各種目選択において、班ノートや振り返りの個人カードを使っており、自分やチームの課題解決について考える機会を設けている。

### 【芸術】

- ・楽曲や作品を仕上げていく過程では反復練習や部分的な作業など、個人での取り組みが必須ではあるが、完成に至るまでの途中段階で自らの考えを述べる機会や表現に関する意見交換の場を意図的に設定することで、今後も生徒同士の主体的な学習を促していきたい。

### 【家庭科】

- ・グループでの情報交換の場面はあったが、課題について、考えたり、話し合ったり、発表したりする場面が少なかった。

### 【情報】

- ・各クラス概ね4、3の評価だが、クラスによっては2が3割のクラスもあり、改善を検討したい。

○ 後期にむけた取り組み

【国語】

- ・学び合い活動の実践を工夫しつつ、授業内で理解しきれなかった生徒へのサポートをしていきたい。

【地理歴史公民】

- ・良かった取り組みを維持しつつ、特に公民科において、他者との関わりを重視する授業を展開していきたい。

【数学】

- ・生徒同士の意見交換や教え合う活動を一層充実し、項目②、及び⑤のさらなる改善を目指す。

【理科】

- ・課題研究の項目②、③の評価が高いので、探究的な活動を取り入れるのも、1つの手段だと考えられる。

【英語】

- ・「できるようになった」という実感を持たせられるような工夫を継続的に行っていく必要がある。
- ・パフォーマンステストは教員の負担が大きい取組であるが、充実したものとするために、より良いルーブリックを策定していくことが重要である。
- ・今回の授業評価自体には表れていないが、「概要は理解できるが、正確な読解に自信がない」という声が学年を問わず聞かれるため、この点をどのように指導していくか、アイデアを共有して授業改善に役立てたい。

【保健体育】

- ・「体育」「保健」とともに現在の活動をベースに、新たな教材の開発などにも積極的に取り組みたい。教員間でも効果的な指導法については情報交換を密に行い、教科全体として、さらに高評価を得られるよう取り組みたい。

【芸術】

- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善に意識的に取り組む。

【家庭科】

- ・夏休みの課題として、ホームプロジェクトがあり、調べる、発表する等の内容を含んだ授業が予定されている。また、グループワークの課題、進め方にも検討を加える。

【情報】

- ・学習の狙いなど実習の目標の明確化をし、単に作業することにならないよう指導していきたい。また、クラス間で指導にばらつきが生じないように、指導項目の管理を強化し、主体的な取り組みからより達成感を得られる演習を実施していきたい。

問合せ先

教頭 矢野 悟

TEL 046-221-4490